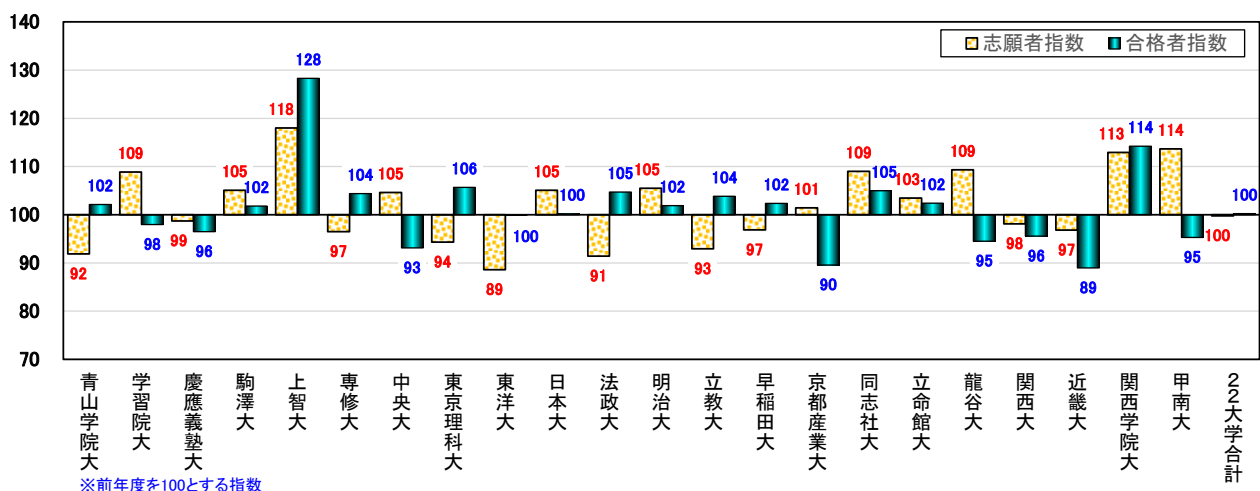


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎主要私立22大学 志願状況概況

大学	2023年度		2022年度		増減数		志願者指数		合格者指数	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	2023年度 /2022年	2022年度 /2021年	2023年度 /2022年	2022年度 /2021年
青山学院大	43,948	11,017	47,839	10,787	-3,891	+230	92	119	102	109
学習院大	18,094	4,811	16,621	4,911	+1,473	-100	109	97	98	130
慶應義塾大	37,411	9,625	37,894	9,975	-483	-350	99	103	96	107
駒澤大	30,684	10,525	29,201	10,339	+1,483	+186	105	98	102	113
上智大	26,552	9,176	22,503	7,153	+4,049	+2,023	118	86	128	106
専修大	44,918	15,779	46,547	15,119	-1,629	+660	97	98	104	111
中央大	67,786	17,305	64,795	18,585	+2,991	-1,280	105	83	93	94
東京理科大	50,698	17,952	53,752	16,990	-3,054	+962	94	109	106	102
東洋大	87,094	30,332	98,276	30,341	-11,182	-9	89	109	100	109
日本大	98,506	36,720	93,770	36,648	+4,736	+72	105	96	100	103
法政大	99,051	24,066	108,343	22,986	-9,292	+1,080	91	119	105	115
明治大	108,042	27,196	102,426	26,688	+5,616	+508	105	103	102	108
立教大	58,208	16,092	62,646	15,501	-4,438	+591	93	96	104	106
早稲田大	90,879	15,374	93,843	15,021	-2,964	+353	97	102	102	103
京都産業大	38,275	10,954	37,735	12,227	+540	-1,273	101	92	90	108
同志社大	49,972	17,227	45,854	16,412	+4,118	+815	109	103	105	104
立命館大	91,382	33,404	88,335	32,627	+3,047	+777	103	106	102	102
龍谷大	61,083	18,482	55,880	19,553	+5,203	-1,071	109	99	95	110
関西大	77,699	19,286	79,184	20,182	-1,485	-896	98	100	96	107
近畿大	152,191	35,114	157,194	39,464	-5,003	-4,350	97	116	89	105
関西学院大	43,737	18,081	38,737	15,829	+5,000	+2,252	113	115	114	127
甲南大	16,667	5,443	14,662	5,711	+2,005	-268	114	99	95	111
22大学合計	1,392,877	403,961	1,396,037	403,049	-3,160	+912	100	103	100	107

◇指数は、いずれも前年度を100とする数値を表す。



上のグラフと表は、2023年度入試における主要私立22大学の大学別入試結果をまとめたものです。2022年度の志願者数についても、前年度最終集計から一部の大学で修正がありましたので、それを反映させた数値です。

□志願者数が増加したのは12大学で増減大学数はほぼ拮抗

志願者数が増加したのは、上智大(118)が大幅増加、甲南大(114)、関西学院大(113)、学習院大(109)、同志社大(109)、龍谷大(109)が増加、駒澤大(105)、中央大(105)、日本大(105)、明治大(105)、立命館大(103)がやや増加でした。

一方で、東洋大(89)、法政大(91)、青山学院大(92)が減少、立教大(93)、東京理科大(94)、専修大(97)、早

稲田大(97)、近畿大(97)がやや減少でした。

上智大(118)は共通テスト利用方式で科目負担の軽い3教科型の新設により大幅増加しました。なお、この方式を除いた既存の方式のみでは(92)の減少です。甲南大(114)は一般方式中期や一般方式外部英語試験活用型の新設により4年ぶりに増加しました。

一方で、東洋大(89)は前年度に共通テスト利用方式前期に英語外部試験の利用を可能にしたことで大幅増加した反動から減少しました。法政大(91)は前年度共通テスト平均点大幅ダウンによる不安から、国公立大志願者が私立大併願校を増やす動きの中で狙われて大幅増加しましたが、今年度はこの反動と前年度のような共通テスト後の駆け込み的な併願者が減少したことが要因でした。近畿大(97)は前年度大幅増加の反動でやや減少しましたが、志願者数は15万人を上回り、10年連続で志願者数全国最多となりました。なお、主要私立22大学で志願者数が10万人を上回ったのは、近畿大、明治大の2大学でした。

方式別では、共通テスト利用方式(102)の微増に対して、一般方式(99)は前年度並となりました。共通テスト利用方式は微増ですが、大学別では上智大(124)、学習院大(123)、同志社大(121)、日本大(117)、関西学院大(116)、駒澤大(115)の大幅増加が目立ち、共通テスト利用方式を実施していない慶應義塾大を除く21大学中14大学で増加しました。共通テスト利用方式に新方式を導入した大学があったことに加えて、難関大では国公立大との併願者も多く、この層が共通テスト利用方式を積極的に利用したことも要因です。

□合格者数が増加したのは13大学で志願者数増加大学数を上回る

合格者数が、前年度より増加したのは、微増の日本大(100)を含めて13大学で志願者数増加大学数を上回りました。増加したのは、上智大(128)は大幅増加、関西学院大(114)は増加、東京理科大(106)、法政大(105)、同志社大(105)、専修大(104)、立教大(104)はやや増加でした。

一方で、近畿大(89)、京都産業大(90)は減少、中央大(93)、龍谷大(95)、甲南大(95)、慶應義塾大(96)、関西大(96)はやや減少でした。

次に、「合格者指数-志願者指数」の値を見ると、プラスだったのは、法政大〔+13〕、東京理科大〔+11〕、東洋大〔+11〕、立教大〔+11〕、青山学院大〔+10〕、上智大〔+10〕などで、競争が緩和されました。一方で、マイナスだったのは、甲南大〔-18〕、龍谷大〔-15〕、中央大〔-12〕、京都産業大〔-12〕、学習院大〔-11〕などで、競争が厳しくなりました。